

令和5年度 第2回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年8月8日（火） 13時30分から15時20分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 高倉 学、武田 則治、佐々木 聡、長谷 寿美子、名倉 招司、
河合 郁美、北村 健二、高倉 毅文
- 4 欠席委員 田中 朋子
- 5 オブザーバー 嶋田 哲也（北部協働センター）、ボランティア3名
- 6 学 校 白井 伸博（校長）、宮崎 幸治（教頭）、職員4名、
中村 好明（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）1学期のボランティア活動、児童の様子、学校の様子
- （2）学校の抱える課題（困っていること）

11 会議記録

司会の宮崎（教頭）から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の指示により、（1）1学期のボランティア活動、児童の様子、学校の様子、と（2）学校の抱える課題（困っていること）について、委員・ボランティア・職員がそれぞれ入ったグループを3組作り、グループで話し合いを持ち、全体会で発表があった。

（1）1学期のボランティア活動についてと児童の様子、学校の様子

Aグループ（武田委員、名倉委員、高倉毅委員、ボランティア1名、職員1名）

- ・バレーボール大会、親子ウォーキングなどの体育関係の行事には、多くの参加者があり、とてもうれしく感じている。また、自分は、社会を明るくする運動や健全育成会にも関わっている。（高倉毅委員）
- ・図工の授業に、学習ボランティアとして参加させて頂いているが、孫の顔を見ることができて、大変楽しみである。（ボランティア）

- ・花壇ボランティアとして参加している。また、自分は、西丘町の民生委員を9年間行っている。花川小は小規模であるが、リーダー性が育っていて、卒業後いろいろなところで活躍している話を聞く。(名倉委員)
- ・花壇ボランティアや野菜の栽培などで行っている。また、個人的に子ども食堂にお米を寄贈している。(武田委員)
- ・小規模校であるので、道具や施設を奪い合うことがない。(職員)

Bグループ (佐々木委員、河合委員、ボランティア1名、教頭、職員1名)

- ・小規模特認校であり、少人数でも大変な実情を、より多くの方々に知ってもらいたいと思う。(佐々木委員)
- ・年々子供が多様化している。(職員)
- ・読み聞かせの様子も変化している。前は先生がいなくても成立していたのに、今は、いなくては難しい。(河合委員)
- ・2年生の児童は1年生の時よりは成長していると感じる。(ボランティア)

Cグループ (長谷委員、北村委員、ボランティア1名、職員2名)

- ・児童会で、子供たちと深く関わるようになった。学校は、子供たちを過保護にしているのではと思う。子供たちは、将来ずっと安全に過ごせるわけではないから。(ボランティア)
- ・ケガが起きないように、未然に防げることはしなければならない。(職員)
- ・学校、児童会、家庭の姿がそれぞれ違う。児童会と学校で情報を共有していくとよい。(長谷委員)
- ・学校は安心でき、楽しい場であって欲しい。(職員)
- ・1年生はとても仲良く遊んでいる。(ボランティア)
- ・子供は、You Tubeなどで使われている言葉を使っている。過激な言葉は自分に返ってくる。また、動画を見続ける環境は良くない。(北村委員)
- ・個別に呼んで、振り返らせている。(職員)

(2) 学校の抱えている問題 (困っていること)

Aグループ (武田委員、名倉委員、高倉毅委員、ボランティア1名、職員1名)

- ・ボランティアに入ったとき、外国籍の児童は言葉の壁があって大変だった。(ボランティア)
- ・朝の登校の様子からも感じ取れるが、外国籍の児童は文化に違いがあり、中学校に行ってから、ついていけるのか心配である。(高倉毅委員)

Bグループ (佐々木委員、河合委員、ボランティア1名、教頭、職員1名)

- ・花壇ボランティアにもっと若い力が欲しい。(河合委員)
- ・地域の方にもっとボランティアに参加してもらえるようにしたい。(佐々木委員)
- ・樹木の剪定、草刈り等の自然環境も何とかしたい。(職員)
- ・学習支援では、全体をみて声掛けをしたい。(ボランティア)
- ・本校では当たり前だと思っていること(調理台が一人一台使えるなど)は、実際では違うことを伝えていくことが必要ではないか。(河合委員)

Cグループ（長谷委員、北村委員、ボランティア1名、職員2名）

- ・手のかかる子とかからない子、手のかからない子も勉強を十分見てあげたいと思う。（ボランティア）
- ・小規模校のため、教師とも近くなり、リーダー経験もたくさんできるため、卒業時は入学時に比べると大変変わる。（長谷委員）
- ・小規模校で、人数も少ないため、PTA役員はやりたくないと思っていたが、仕事内容は簡素化してくれてあった。（北村委員）
- ・外国籍の児童の言葉の壁、文化の違いが、児童がもっと増えていくと大変になっていくと思う。（ボランティア）
- ・外国籍の児童に、うまくなじんで、わかってもらうためにどうしたらよいか考えていく必要がある。（長谷委員）
- ・体育、図工、校外学習、生活科等、ボランティアの方には大変感謝しています。（職員）
- ・講師に地域の人を招いて、地域の人の願いなどを聞く機会がこれからもあるとよい。（北村委員）

12 報 告

（1）ボランティアについて

司会の指示により、佐々木委員から、別紙資料に基づきボランティアについての報告があり、目的・内容共に理解した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年10月26日（木）午後2時から2階会議室で開催する旨の報告があった。